

苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧条例の廃止について

1 苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧条例について

「ごみの減量、資源化及び再利用に関する情報や体験の場を市民に提供することにより、その意識の向上と啓発を図るとともに、市民による自主的活動の支援等を行い、資源循環型社会の形成に寄与すること」を目的に、平成 11 年 4 月 (1999.4) にリサイクルプラザ苫小牧 (以下、プラザと略す) を設置しました。

(1) 設置目的

市民の意識の啓発を図るとともに、市民による自主的活動の支援等を行い、資源循環型社会の形成に資するため。

(2) 事業

プラザ苫小牧は廃棄物の再利用等に関する次の事業を行う。

- ① 市民の体験学習に関すること。
- ② 講座、研修会等の開催に関すること。
- ③ 市民による、自主的活動の場の提供及び支援に関すること。
- ④ 再生品の展示及び提供に関すること。
- ⑤ 図書、資料等の収集及び提供に関すること。
- ⑥ その他市長が必要と認める事業

(3) 料金

設定なし

2 プラザの現状

(1) 基本情報

開設年月日：平成11年4月1日

構造・規模：鉄骨造地上2階建

建築面積：1261.60㎡

施設内容：1階～リサイクルプラザ苫小牧

展示室、修理室、保管室、環境情報室、市民工房3室

エントランスホール、事務室

2階～沼ノ端クリーンセンター事務室、会議室、大会議室、

小会議室、研修室、事務室（施設管理課）

建設費：677,306千円（用地費除く）

(2) 事業内容

①ごみ処理施設の見学受付・案内

施設見学 令和4年度実績 909人

②大型ごみとして出された家具・自転車の修理・販売

家具購入数 令和4年度実績 619個

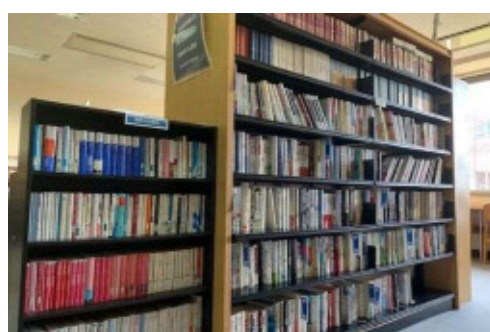
自転車抽選申込み者数 令和4年度実績 4,044人

③牛乳パックからの手すきはがきづくりなどの各種体験講座

体験講座参加者数 令和4年度実績 616人



④053（ゼロごみ）リユース文庫の開設



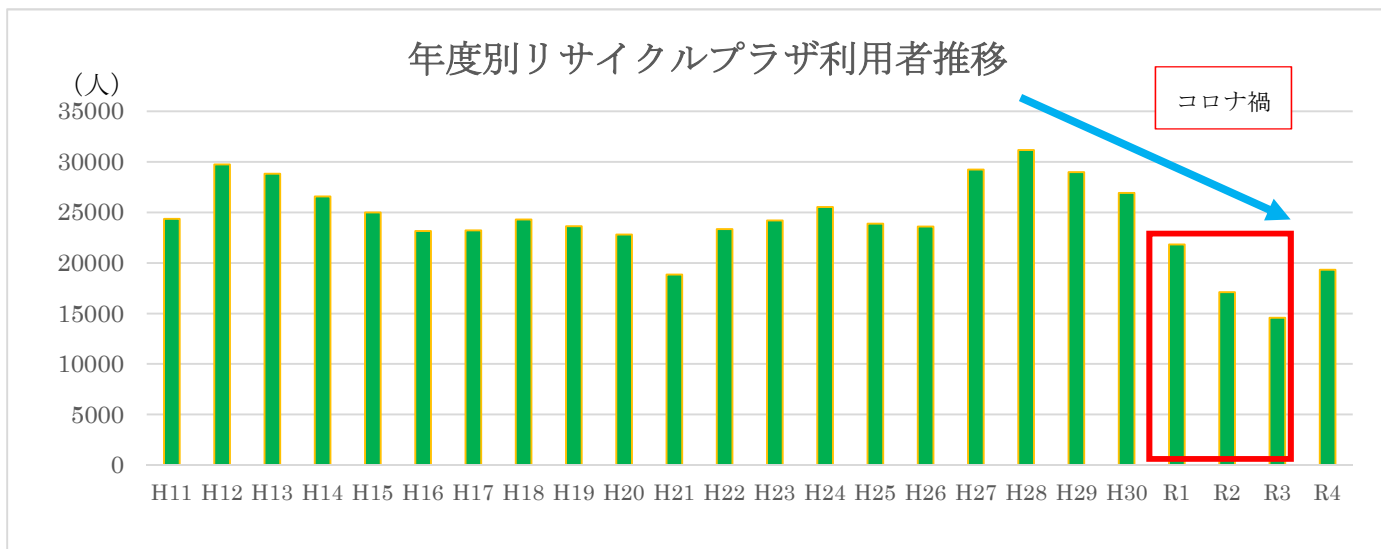
⑤洋服の交換会「ばくりっこ」の開設



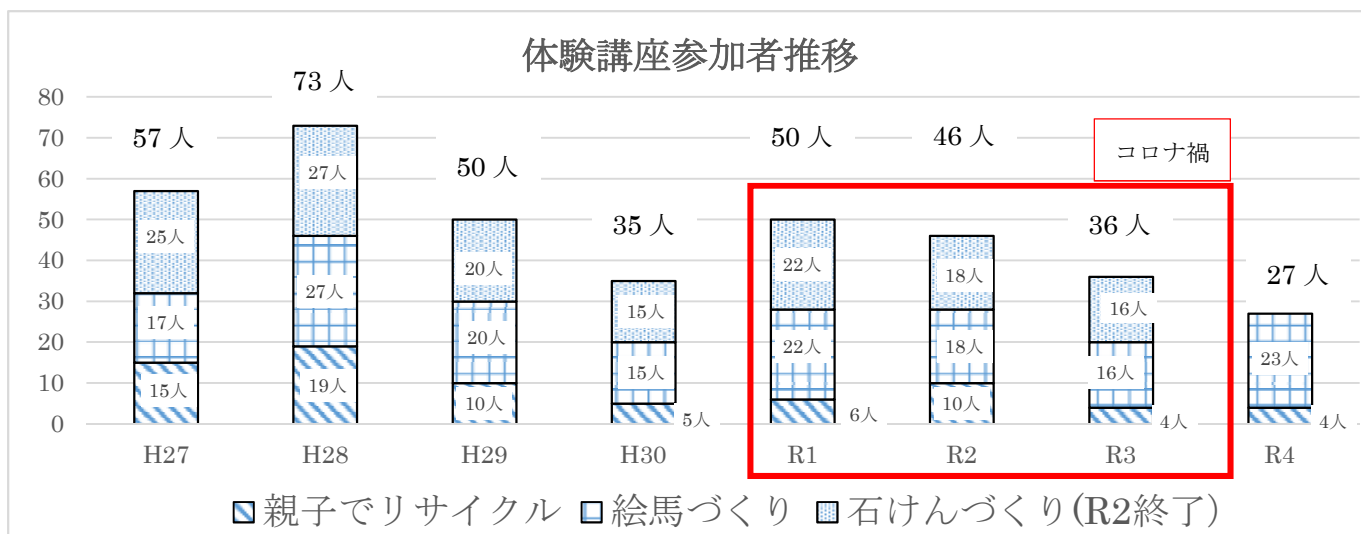
⑥リサイクル関連講座、イベント等の企画



(3) 利用実績について

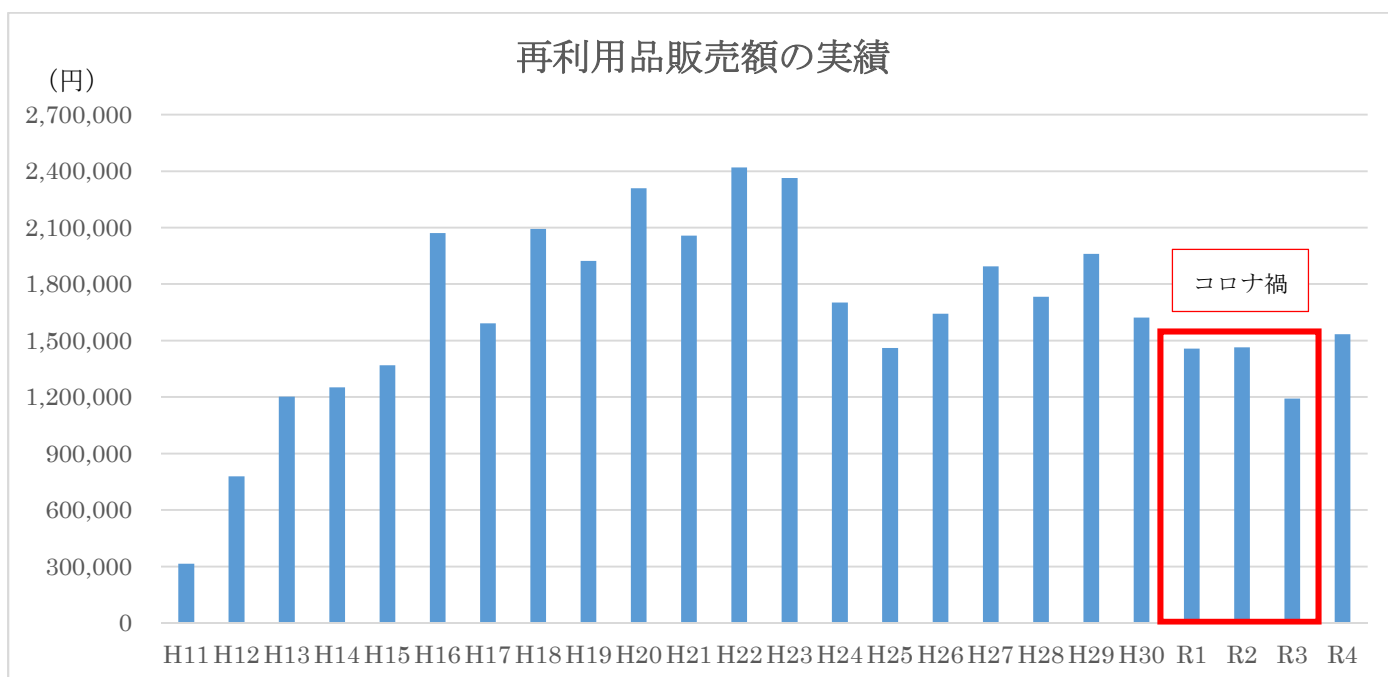


リサイクルプラザ利用者数は平成 28 年をピークに減少傾向で、令和元年のコロナ禍を契機に大幅に減少し、令和 4 年は、増加に転じました。



※グラフは H27～行われている講座だけを抽出

体験講座参加者の利用者は、減少傾向で、令和元年には、コロナ禍にもかかわらず一時的に増加しましたが、令和 2 年以降は徐々に減少しています。



再利用率は、平成 22 年をピークに減少傾向です。

3 課題

年度別リサイクルプラザ利用者推移、体験講座推移グラフから、利用者の減少が顕著にみられます。令和元年から令和 3 年の利用者数減少はコロナ禍によるものと考えられますが、通常生活に戻った令和 4 年と平成 30 年を比較しても利用者数は大幅に減少しています。また、体験講座においても参加者は減少しています。

要因として、プラザの設置目的により、ごみ減量やリサイクルの推進に関する事業しか展開できず、利用者ニーズに応じた幅広い事業を展開することができないことが、来館者数の減少につながっていると考えられます。

このような課題を抱えていることから条例の廃止を検討します。

近隣施設について

1 近隣施設の比較について

条例の制定にあたって、プラザに必要な機能を比較するため、近隣の5施設について来場者数や施設機能について調査を実施しました。

【プラザと近隣5施設との比較について】

(1) 施設概要の比較

	JFEリサイクル プラザ苫小牧 (参考)	東開文化交流 サロン	道の駅 ウトナイ湖	沼ノ端コミュニティ センター	沼ノ端交流 センター	ウトナイ湖野生鳥 獣保護センター
住所	字沼ノ端2番 地の25	東開町2丁 目12-22	字植苗156番 地30	沼ノ端中央4丁 目10-16	北栄町3丁目 3-3	字植苗156番 地26
延床面積	2,348 m ²	1,175 m ²	949 m ²	2,477 m ²	2,402 m ²	1,474 m ²
敷地面積	162,524 m ²	2,704 m ²	17,708 m ²	5,860 m ²	14,364 m ²	1,337 m ²
駐車可能台数	32台	39台	105台	77台	167台	80台
築年数	23年	1年	14年	31年	4年	21年
開設年月	H11.4	R4.12	H21.10	H4.10	H30.10	H14.7
年間開館日数	297日	359日	362日	359日	359日	310日
開館時間	9時～17時	9時～21時	9時～18時 (時期で変動)	9時～21時	9時～21時	9時～17時
R4年度 来館者数	19,329名 (R4年度実績)	20,843名 (R4.12開設)	601,169名 (R4年度実績)	107,219名 (R4年度実績)	84,059名 (R4年度実績)	50,470名 (R4年度実績)

令和4年度の来館者数はプラザが少ない結果となっています。

(2) 施設機能の比較

調査内容		JFE リサイクル プラザ苫小牧 (参考)	東開文化交 流サロン	道の駅 ウトナイ湖	沼ノ端コミュ ニ ティセンター	沼ノ端交流 センター	ウトナイ湖野生鳥 獣保護センター
① 図書 コーナー		有	有	無	有	有	有
	貸出	可	可		可	可	可
	冊数	945 冊	14,000 冊		26,679 冊	9,000 冊	700 冊
②キッズ ルーム		有(キッズコーナー)	無	有	有	有	有
	対象年齢			0～6 歳	0～6 歳	0～6 歳	5～6 歳
	面積	9 m ²			27.88 m ²	54 m ²	9 m ²
	おもちゃ 種類	塗り絵、絵本		遊具、知育玩 具等	つみき、絵 本、滑り台等	おままごとセッ ト、ブロック等	絵本、双六等
③授乳室・おむつ替え スペース	おむつ替えスペ ースのみ有	両方とも有	両方とも有	両方とも有	両方とも有	両方とも有	
④飲食スペース	有	有	有	有	有	有	
⑤調理室		無	有	無	有	有	無
	調理台		1 台		4 台	4 台	
	オープン		1 台		7 台		
	レンジ		1 台		4 台		
	冷蔵庫		1 台		1 台	1 台	
⑥多目的に使用 できる貸部屋	大会議室※1 1 部屋 小会議室※1 1 部屋	多目的ホール 1 部屋	無	集会室 1 部屋	ミーティングルーム 4 部屋	レクチャールーム 1 部屋 多目的室 1 部屋	
⑦ 指 定 管 理 者 が実施し た講座	無	有	無	有	有	無	
	講座数	18 回		145 回	1 回		
	参加数	248 名		309 名	13 名		
⑧子ども向けの学 習、教育に関する 講座の実施	有	有	無	有	無	無	
⑨デジタルコンテン ツを利用した設備	無	無	無	有	有	無	
⑩講演会等の実 施が可能な部屋 の最大収容人数	120 名	100 名	無	60 名	300 名	80 名	

※1 プラザは条例の設置目的により、廃棄物の再利用等に関する事業しか部屋を貸し出すことができない。(施設見学や廃棄物に関する会議の開催等)

2 近隣5施設との比較結果について

①図書コーナーについて

道の駅ウトナイ湖以外の施設については、本を貸出しする機能があり、リサイクルプラザ苫小牧の付近では、図書機能が充実しています。

②キッズルームについて

4か所の施設でキッズルームが常設されていました。積み木、絵本、小さい滑り台等がおもちゃとして設置されており、乳幼児から小学生未満の子どもが遊べる小規模なスペースとなっていました。

③授乳室やおむつ替えスペースについて

全ての施設で授乳室、おむつ替えスペースが設置されていました。

⑤調理室について

3か所の施設で調理室が1部屋ずつ設置されており、大規模な部屋では、約20人程度が調理できるスペースとなっています。

⑩講演会等の実施が可能な部屋の最大収容人数について

沼ノ端交流センターが最大で、300名を収容することができるスペースが設置されていました。その他の施設は60～100名程度の収容数となっています。

【結果】

リサイクルプラザ苫小牧近隣の公共施設には、図書館機能、多目的または大規模に利用できる貸館機能、小規模なキッズルームが充実していました。

3 考察

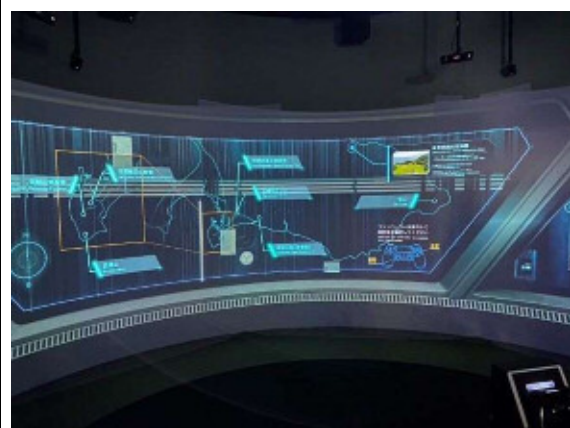
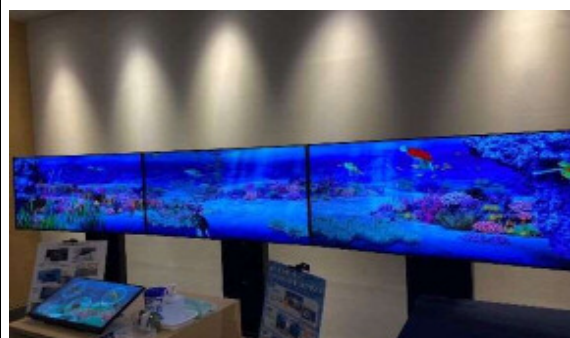
- ・リサイクルプラザ苫小牧近隣の公共施設には、図書館機能や貸館機能は充実している反面、子供が遊べる広い屋内空間は存在していません。
- ・授乳室やおむつ替えスペースはどの施設にも設置されており、施設を改修する際には必要な設備であると考えます。
- ・プラザは来館者数が少ない結果となっていますが、環境に親和性のあるウトナイ湖鳥獣保護センター等の近隣施設とコラボすることで、来館者数の増加が期待できると考えます。

他市施設について

1 他市施設の視察内容について

施設の活用にあたって、環境教育や子供向けの施設を視察しました。各施設の概要や視察結果については以下のとおりです。

(1) はこだてみらい館（函館市若松町 20 番 1 号キラリス函館 3 階）



【概要】

市民および観光客に対して先端的な技術を活用することその他の創意工夫を生かした体験および交流の場を提供することにより、中心市街地のにぎわいの創出を図ることを目的としている。

【令和4年度の来館者数】

55,675名（H28.10月オープン）

【営業日】

営業時間 10:00 から 20:00

休館日 1年間のうち、17日間

【入館料金】

	当日券	団体券	3か月パス	6か月パス
大人・中学生・小学生	300円	240円	900円	1,500円
未就学児	無料	無	-	-

【施設の特徴】

- ・先端技術を多数設置したデジタルコンテンツをメインに配置し、小学生から一般利用者まで幅広い層をターゲットとしている。
- ・市民だけではなく修学旅行生や観光客など市外からの利用者も多い。
- ・幅 14.5m×高さ 2.5mの巨大なディスプレイを活用し、人の動きに合わせて環境に関するゲームが体験できる等のコンテンツが人気につながっていると感じた。

(2) はこだてキッズプラザ (函館市若松町 20 番 1 号キラリス函館 4 階)



【概要】

子どもや保護者に対して遊びを通じて交流する場および子育てを支援する場を提供することにより、中心市街地の賑わいの創出を図ることを目的としている。

【令和 4 年度の来館者数】

85,215 名 (H28.10 月オープン)

【営業日】

営業時間 10:00 から 18:00

【入館料金】

	当日券	3 か月パス	6 か月パス
大人 (中学生以上)	100 円	300 円	500 円
子ども (6 か月以上)	300 円	900 円	1,500 円
生後 6 か月未満	無料	-	-



【施設の特徴】

- ・子ども達が屋内で思いっきり遊べるのがコンセプトの全天候型運動施設。
- ・未就学児から小学生までがターゲットで、乳幼児コーナーや託児施設もあり、子育て世帯への支援につながっている。



(3) YUMESAKI GALLERY (神奈川県横浜市西区高島1丁目2-13)



【概要】

「私たちの夢を創造する・未来の希望を想像するダイナミックなデジタル体験ギャラリー」をコンセプトにした施設。デジタル技術を駆使した体験コンテンツを備えており、子どもから大人まで無料で近未来を体験することができる。

【令和4年度の来館者数】

外部公表していない (R4.3月オープン)

【営業日】

営業時間 10:00 から 18:00

休館日 毎週火曜日、年末年始、設備点検日 (随時)

【入館料金】

無料

【施設の特徴】

- ・先端技術を駆使したコンテンツの設置。
- ・小学生から一般利用者まで幅広い層をターゲットとしている。親子利用者がほとんどであった。
- ・施設内は5つの島 (コンセプト) に分かれており、どの島においてもデジタルモニターを活用し、人の動きを感知して遊びながら学ぶコンテンツとなっていた。
- ・季節やイベントに合わせてコンテンツの内容を変えるなど来場者を飽きさせない工夫があった。

(4) ITOCHU SDGs STUDIO KIDS PARK (東京都港区北青山 2-3-1 Itochu Garden)



【概要】

遊んで、触れて、感じてもらう SDGs をコンセプトにしており、海洋プラスチック問題、廃材リサイクル、ごみの分別などを楽しみながら体験できるコンテンツを備えている。

【令和4年度の来館者数】

外部公表していない (R4.7月オープン)

【営業日】

営業時間 9:30 から 17:30

休館日 月曜日

【入館料金】

無料

【施設の特徴】

- ・ボールプールや廃材の工作、デジタルモニターで遊びながら学ぶ等のコンテンツの設置。
- ・乳幼児から小学4年生くらいまでをターゲットとした施設となっていた。
- ・ベビーカーを10台以上置けるスペース、授乳室、ウォーターサーバー、ドリンク・軽食・おむつを販売する等、子育て世帯が安心して遊びに行ける空間となっていた。

(5) 室蘭市生涯学習センター（きらん）（室蘭市中島町2丁目22番1）



【概要】

子どもが集う「キッズパーク」、市民の学習をサポートする「ブックパーク」、様々な活動の場として利用できる「貸室」、地域の市民活動の拠点となる「市民活動センター」の4つの施設からなる複合公共施設としてオープン。

【令和4年度の来館者数】

264,261名（H30.12月オープン）

【営業日】（キッズパークのみ）

営業時間 10:00 から 17:00

休館日 毎週火曜日

【入館料金】

	一日券	6か月パス	年間パス
子ども	200円	1,200円	2,000円
大人	無料	無料	無料

【施設の特徴】

- ・中学校跡地の有効活用及び公共施設を集約化し、各企業の共同体として設計建設から運営までを行う方式での導入。
- ・立地が良く、バス電車の公共交通機関でのアクセスも良い。駅まで徒歩15分程度。近隣にバス停も4か所ある。
- ・利用者の3～4割は車での来館。駐車場は跡地の半分のホテル（ルートイン）と共用。222台の駐車スペースのうち150台をきらんのスペースとして想定。
- ・センター利用者は駐車料金無料。
- ・年間20万人～30万人の利用を見込んでいる。
- ・休憩スペースが多く、利用も多い。

2 他市施設の視察・調査結果

5施設について視察しましたが、いずれの施設においても、授乳室の設置や子ども向け自販機の設置等、親子が楽しく、安心して遊べる施設となっていました。

子どもが楽しく遊びながら環境教育について学べる施設として、デジタルモニターを活用し、環境について学ぶデジタルコンテンツや木育等の環境情報を取り込んだ遊具等が施設の人気や来場数につながっていると感じました。

条例の骨子案について

条例の骨子 (案)

(1) 設置目的

環境情報の発信及び文化活動の支援等を行い、自然と環境にやさしい持続可能な地域社会の形成、さらには脱炭素化社会の実現に資する施設を目指します。

(2) 事業内容

今までのゼロごみの事業に加え、ゼロカーボンやSDGs等の様々な環境問題をテーマに、自由度の高い事業展開をしていきます。

また、利用者ニーズに応じた幅広い事業を展開していきます。

- (ア) 自然と環境に係る市民の体験学習、講座、研修会、文化活動、市民活動の開催等。
- (イ) イベントや展示会、貸館などの市民活動の場の提供。
- (ウ) 地域情報及び環境情報の発信。

(3) 使用料

指定管理者制度の導入を視野に、民間事業者の創意工夫による新たな事業展開と市民サービスの向上のために新たに使用料を設定します。